

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あし・うたり		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		2025年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児が通所を楽しみしてくれている点	・日々の活動の中で同じ活動が続かないようにしている。 ・様々な活動を取り入れている。 (おやつ作り・製作・お出かけ等)	・利用児にどんな活動をしてみたいか聞く。 ・利用児が楽しんでくれた活動の良さを、別の活動にも生かしていく。 ・職員同士で話し合う。
2	法人内の様々な事業所と一緒に活動を行う機会を設けている。	・就労を見据えて、結まーるで就労体験を行った。 ・結まーるの就労体験で作ったお菓子を、風の子保育園で販売した。 ・あしうたりの利用児・保護者と結まーるの利用者・保護者と合同でボーリング大会を開催した。	・継続的に他事業所との交流の場を設けていく。 ・他事業所との関わりの中で、利用児の成長を促せるようにイベントの内容を工夫していく。 ・同法人以外の事業所とも関われる機会を設定する。
3	保護者と利用児の様子について伝え合ったり、困りごとを相談できる関係を築いている。	・お迎え時にどんな活動をしたか、どんな様子だったかを保護者に伝えている。 ・活動の様子の写真を玄関に貼り出し、保護者に伝えている。 ・保護者からの相談に対して、事業所だけでなく様々な機関と連携して支援を行っている。	・保護者が気軽に利用児の悩みや困りごとを相談できるように、日頃から関係を築いていく。 ・通信等を通して、普段どんな活動をしているのか積極的に伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等があまりない。	・ペアレントトレーニング等の職員の理解が深まっていない。 ・研修会のチラシを玄関に貼っているだけで、保護者に周知されていない。	・職員がペアレントトレーニングについての理解を深める。 ・研修会がある時には、チラシを配ったり口頭で伝えたりする。
2	職員が支援の専門性を深めることができていない。	・子どもの普段の様子は理解しているが、障がい自体の理解が深まっていない部分がある。	・研修に積極的に参加する。 ・作業療法士等専門的な知識を持った職員と積極的に話し合いを行う。
3	個別支援計画の内容が職員間で理解が深まっていない。	・職員が定期的に個別支援計画を見直すことができていない。	・会議の時に支援計画と現状を比べ、支援の内容を検討する。 ・支援計画で立てた目標が達成できるように、活動内容を工夫する。